

西河技術経営塾研究科前期 講義録 SH04

作成：渋谷 加津美

**日時**：平成 29 年（2017 年） 8 月 18 日（金）午後 1 時 30 分 ～ 午後 3 時 00 分

**場所**：アーネスト育成財団内会議室（渋谷区代々木 1-57-2 ドルミ代々木 704 号）

**講師**：小平和一郎

**研究生**：渋谷加津美

**講義名**：(SH04) <sup>1</sup>「第 5 章戦略の基礎と技術経営の担当部のストーリーを決定する」（3）

**提出資料**：第 5 章の講義資料の 25 頁～48 頁部分の講義原案

## 講義内容

### 1. 概要

第 4 回目（SH04）の講義（研修）を行った。内容は、第 5 章「戦略の基礎と技術経営を学ぶ」について担当部分の第 3 回の講義内容により修正した講義原案を提出、問題意識や疑問点を発表し、打合せを行った。

『技術経営戦略（MOT シリーズ）』を参考に、下記語句の解説を記述することとなった。

（1 テーマ最低半ページ）

- ・MBA と MOT、
- ・需要表現、
- ・イノベーション、
- ・異業種間競争、
- ・持続的イノベーション、
- ・技術融合、
- ・垂直結合、
- ・水平統合、
- ・モジュール化、
- ・改善モデル

### 2. 研究内容

#### （1）概要

資料「講義原案」の課題部分について質疑形式で行った。日本製造業の変遷について再度整理を行った。

時代の流れを読んで、物事を捉えておくことが重要で事例に基づく検証は、必須である。

#### （2）日本の製造業の状況

イノベーションを目指す技術経営戦略は、日本の強み（センスウェア）を生かすことが必要である。自立型組織（ボトムアップ）をつくり、活かしていくかが課題となり、成長戦略につなげることが経営である。

#### （3）ICT 技術について

「IoT 時代に向けて課題を解決する ICT 技術」の開発が関連業界で話題となってきた。

ドイツのインダストリー 4.0 とも連携した製造現場でのロボット革命での IoT 成功事例が多数報告されている。これらの成功事例も参考に時代の流れをつかむ必要がある。

### 3. 次回までの宿題

#### ・第 5 章講義原案の見直し

本日の日本の製造業の変遷と ICT 技術の成功事例より学ぶなどの教育結果を受けて、講義原案の見直しを行う。

### 4. 次回日程

（1）次回日程 9 月 28 日（木）11 時～13 時

#### （2）参考資料

研究の参考資料として、下記書籍を選定した。（6 月 21 日購入済み）

『技術経営戦略（MOT シリーズ）』、児玉文雄著 オーム社 2007 年 4 月 定価 3,800 円  
以上

<sup>1</sup>（注）SH01：SH とは、Shibuya のこと。01 は、1 回目。第 3 回は、SH03 となる。